

# 東北地方 1か月予報

(10月18日から11月17日までの天候見通し)

平成15年10月17日  
仙台管区気象台発表

## <予想される向こう1か月の天候>

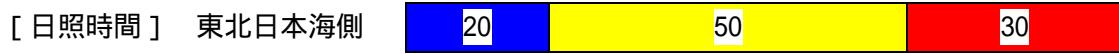
向こう1か月の実現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

天気は数日の周期で変わるでしょう。期間の後半、東北日本海側では一時寒気の影響でしぐれる見込みです。

向こう1か月の平均気温は平年並か高い、降水量は平年並、日照時間は平年並でしょう。

週別の気温は、1週目は平年並、2週目は高い、3~4週目は平年並の見込みです。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



低い(少ない)    平年並    高い(多い)

## <気温経過の各階級の確率(%)>



低い    平年並    高い

## <予報の対象期間>

1か月 : 10月18日(土)~11月17日(月)

1週目 : 10月18日(土)~10月24日(金)

2週目 : 10月25日(土)~10月31日(金)

3~4週目 : 11月 1日(土)~11月14日(金)

## <次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は10月24日

3か月予報:10月23日(木) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温( )	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温( )		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	10.7	119.2	150.6	12.7	11.5	9.8
新庄	8.8	184.4	86.1	11.2	9.8	7.8
若松	9.6	71.9	109.4	11.9	10.4	8.6
深浦	10.1	156.5	102.3	12.3	11.1	9.1
青森	9.2	126.6	122.7	11.5	10.2	8.1
むつ	8.9	115.0	137.2	11.2	9.9	7.8
八戸	9.3	72.4	156.0	11.6	10.3	8.3
秋田	10.3	176.8	117.6	12.5	11.2	9.2
盛岡	8.3	100.8	137.8	10.6	9.2	7.3
宮古	10.1	91.1	158.1	12.1	10.9	9.2
酒田	11.5	201.6	114.1	13.7	12.4	10.5
山形	9.8	75.7	121.4	12.1	10.6	8.8
仙台	11.6	79.3	154.9	13.8	12.5	10.7
石巻	10.9	82.7	162.3	13.1	11.8	10.0
福島	11.5	73.4	143.2	13.6	12.4	10.5
白河	10.1	77.7	154.1	12.1	10.9	9.2
小名浜	13.1	110.5	166.4	15.2	13.9	12.3

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはあります。下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4~+0.5	84~111	95~105
東北日本海側	-0.4~+0.5	92~107	95~106
東北太平洋側	-0.4~+0.5	68~120	96~105

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.7~+0.6	-0.7~+0.8	-0.5~+0.7
東北日本海側	-0.7~+0.6	-0.7~+0.8	-0.5~+0.6
東北太平洋側	-0.6~+0.6	-0.7~+0.8	-0.5~+0.7

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間ににおける各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、予報した階級が実際に起こる割合(出現率)を表しています。たとえば、確率60%の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率(各階級ともに33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

# 東北地方 1か月予報解説資料

平成15年10月17日 仙台管区気象台

## 1. 実現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(10月18日～11月17日)：

天気は数日の周期で変わるでしょう。期間の後半、東北日本海側では一時寒気の影響でしぐれる見込みです。

平均気温は平年並か高いでしょう。

1週目(10月18日～10月24日)：

明日(18日)と期間の終わりは、気圧の谷や寒気の影響で天気のくずれる所がありますが、その他の日は高気圧に覆われ概ね晴れるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

2週目(10月25日～10月31日)：

天気は数日の周期で変わるでしょう。

平均気温は高いでしょう。

3～4週目(11月1日～11月14日)：

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側では一時寒気の影響でしぐれる見込みです。

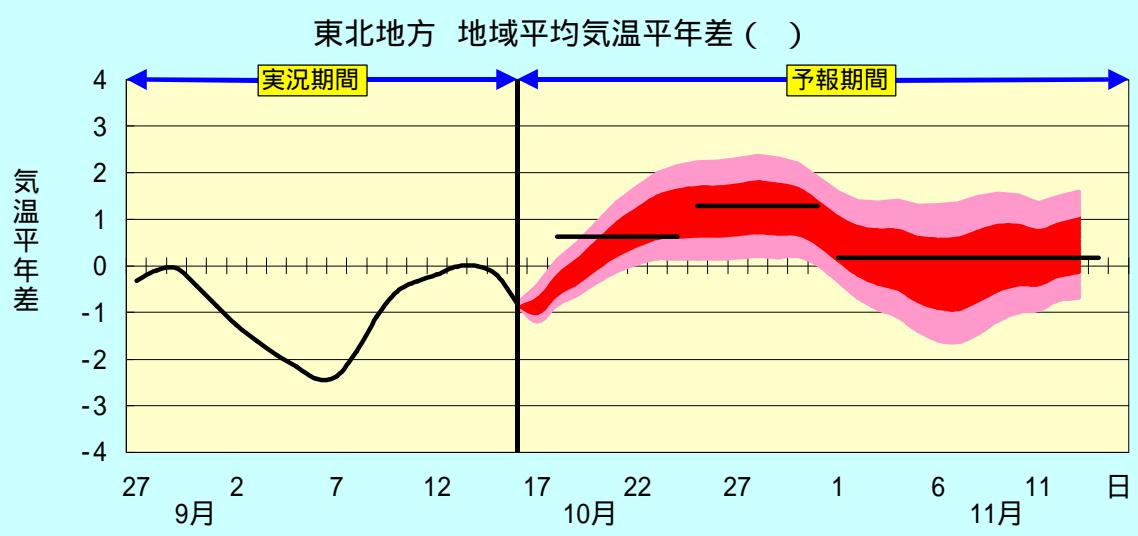
平均気温は平年並でしょう。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3～4週目
東北日本海側	11.6日	3.5日	2.9日	5.2日
東北太平洋側	16.9日	4.2日	4.2日	8.5日

## 2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目は「平年並」、2週目は「高い」、3～4週目は「平年並」と予測している。予報は、数値予報どおりとする。なお、数値予報の信頼度は小さい。

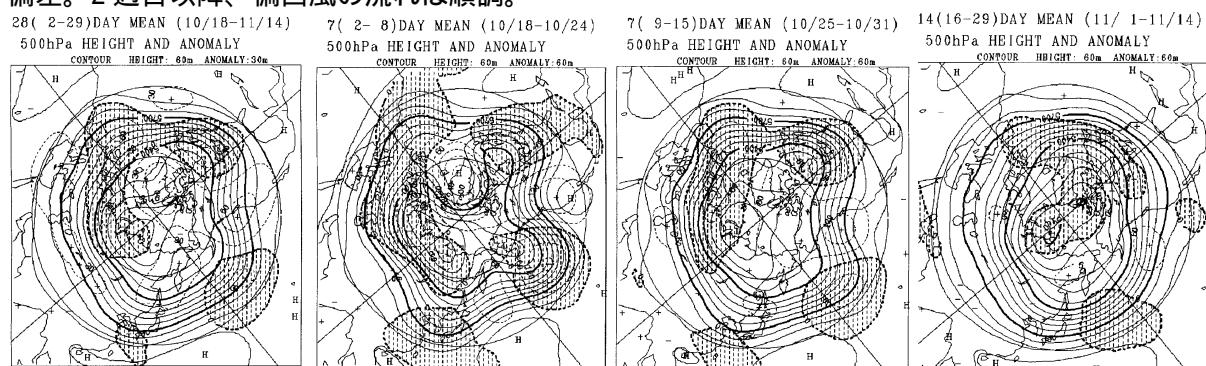


### 3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

#### 500hPa 高度と偏差：

月平均では、極付近が正偏差で寒気放出パターンだが、日本付近はカムチャツカ半島を中心を持つ正偏差に覆われる。偏西風の流れは順調で、天気は数日の周期で変わる見込み。

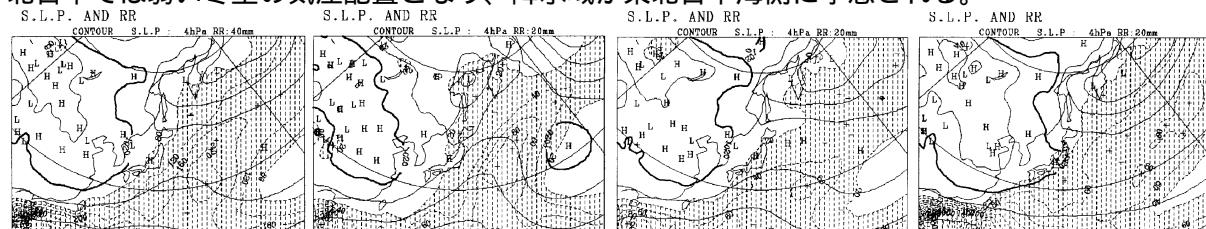
週別に見ると、1週目は西日本が気圧の谷となり、本州以南は負偏差に覆われる。2週目は沿海州に中心を持つ正偏差に覆われる。3~4週目は日本の東に負偏差が予想されるが、日本付近は正偏差。2週目以降、偏西風の流れは順調。



#### 地上気圧と降水量：

月平均では、本州付近の等圧線の間隔はまばらで、天気は数日の周期で変わる見込み。まとまった降水域は日本の南と東海上に予想されているが、日本付近は弱い降水域がかかる程度。

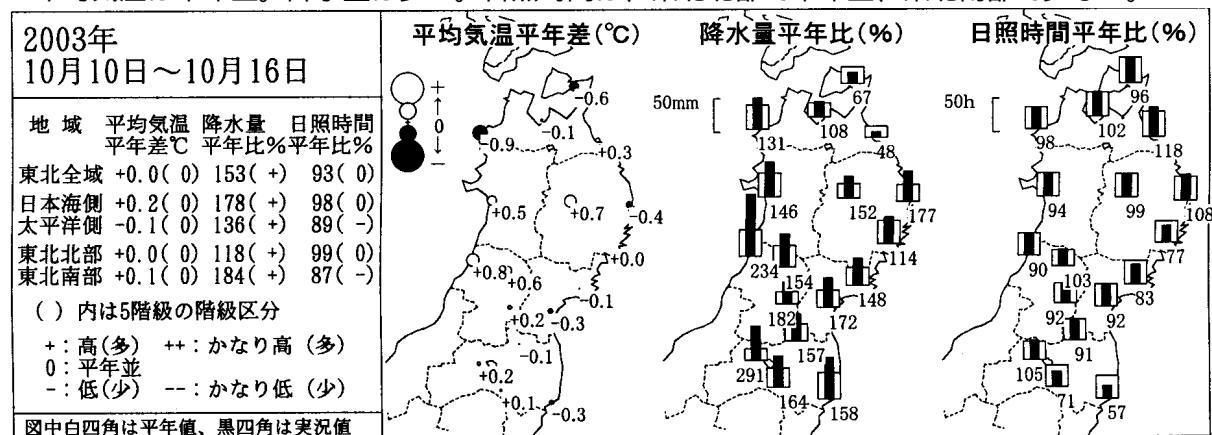
週別に見ると、1週目はオホーツク海に低気圧が予想され、東北北部にも弱い降水域がかかる見込み。2週目は月平均と同様。3~4週目は大陸の高気圧が強まって、日本付近まで張り出す。北日本では弱い冬型の気圧配置となり、降水域が東北日本海側に予想される。



### 4. 最近1週間（10月10日～10月16日）の天候の経過

天気は数日の周期で変わったが、東北南部では前線や低気圧の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多くかった。

平均気温は平年並。降水量は多い。日照時間は、東北北部で平年並、東北南部で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）